

第四回ふるさと納税の未来を考えるシンポジウム

新型コロナウイルス感染症拡大の中、医療者支援を使い道とした寄付や、自粛によりダメージを受けた農家等を応援する返礼品の提供など、ふるさと納税が社会課題の解決に大きな力を与えています。

このシンポジウムは、様々な社会課題が浮き彫りになる中、制度を活用して課題解決に取り組む優良な事例を表彰し、各自治体から詳細をご紹介いただくとともに、専門家によるデジタルマーケティングに関する講演を通じて、今後の制度活用の新展開に向けた知見を得ることを目的としています。

11.10 火

14:30~16:40

開催概要 **オンライン開催**

- ふるさと納税自治体連合表彰
- 受賞事例発表

講演

演題：『ふるさと納税を支援する顧客志向のマーケティング』

感染症拡大を背景に、官民を問わず、デジタルトランスフォーメーション（DX）が加速しています。この過渡期中、東京都立大学の水越教授よりデジタルマーケティングの手法を活用して、寄付者と継続的な関係性を築くためのヒントをご提示いただきます。

講師：東京都立大学経済経営学部
教授 水越康介 氏

（略歴）

2000年に神戸大学経営学部卒業、2005年に同経営学研究科博士後期課程修了、博士（商学）。

2005年から首都大学東京（現東京都立大学）、2019年から経済経営学部教授。専門はマーケティング、デジタル・マーケティング。



主催：ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合

ふるさと納税の未来を考えるシンポジウム 開催概要

プログラム

開会あいさつ

表彰式

ふるさと納税自治体連合表彰(4自治体程度(予定))

事例発表

ふるさと納税自治体連合表彰自治体の事例発表

講演

テーマ「ふるさと納税を支援する顧客志向のマーケティング」

講師: 東京都立大学経済経営学部 教授 水越康介 氏

閉会

※プログラムは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

11月は「ふるさと納税月間」

ふるさと納税は、人々の「ふるさと」への想いを寄付と税制により実現させる仕組みとして平成20年に創設され、これまで寄付者の「ふるさと」への想いを元に発展してきました。

ふるさと納税の意義を広く伝え、より多くの方々に制度を活用していただくために、11月を「ふるさと納税利用促進月間」と定めて、全国で啓発活動を実施します。

申込方法

郵送やFAXによる申し込みの場合: 申込フォームにより事務局宛、申し込んでください。(下記、「お問い合わせ先」)

メールによるお申し込みの場合: メール本文に「お名前、ご住所、ご職業(ご所属)、ご連絡先(電話番号)」をご記載の上、申し込んでください。

お申込み先

事務局 福井県交流文化部定住交流課

住所: 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号

TEL: (0776)20-0665 FAX: (0776)20-0644

E-mail: furusatokouken@pref.fukui.lg.jp

申込フォーム

お名前	ご住所	ご職業 (ご所属)	ご連絡先 (電話番号)

連絡先メールアドレス(必須):

※閲覧用 URL をお送りしますので、必ずご記入ください。